QUALITY ASSURANCE
JIC
REGISTERED
ORGANIZATION
No.0430-ISO9001
ISO9001認証取得



INNER FIRE

情熱とは、あなた自身の内なる炎。
一途にトレーニングに励むときも、
戦いに敗けても挫けず
何度も果敢に挑戦し続けるときも、
熱く、まばゆく燃え続ける。
熾烈な戦いのなかで、
すべての敵を焼き尽くしてしまうまで。



- 日本リーグ唯一の公式試合球
- 全日本実業団連盟主催大会唯一の公式試合球

32H312Y ヌエバ ¥6,825(本体価格¥6,500)
国際公認球・検定球・縫い・人工皮革・3号球
カラー（黄×黒）

32H212Y ヌエバ ¥6,615(本体価格¥6,300)
国際公認球・検定球・縫い・人工皮革・2号球
カラー（黄×黒）
(標記の価格はメーカー希望小売価格)

学生ハンドボール界の課題と発展

―世界学生大会（ロシア）から北京に向けて―

(財)日本ハンドボール協会理事／全日本学生ハンドボール連盟理事長
福地　賢介



世界学生選手権大会（FISU）は、２年に一度開催される。今回は、６月開催予定の女子大会が、ブルガリアの事情から開催地の変更を余儀なくされ、男子開催予定のロシアが女子開催も引受け、初めての男女同時開催（男子第17回・女子第６回）となった。

参加選手は、男女共に各地区学連及び強化委員会、各インカレなどからリストアップされ、書類選考後、選考会及び数次の強化合宿を経て最終選考された。これに、全日本スタッフと協議し、将来全日本に繋がる可能性があり、国際経験もある男子２名・女子１名の実業団所属選手（FISU規定により卒業後１年、28才までの選手は参加資格がある）を加えた。国際試合の経験の少ない今回のチームを補い強化を図り、男女共に欧州勢の壁を打破し、ベスト４入りを目指している。

今回、男子は松井氏の全日本監督就任により、ユーゴ・ポルトガル両大会でコーチを務めた田村コーチが昇格、女子も水上氏の女子強化部会委員長就任に伴い、ブルガリア大会でコーチを務めた池田監督が就任、夫々が世界学生初采配となり注目される。

世界学生への参加は、学生界全体及びU-19・U-23のレベルアップ、将来U-19・U-23が全日本に繋がり得るスタッフの育成も大きな目的である。更に、普及に繋がる大学指導者の育成という課題もあり、日本協会と協力して取り組んで行きたいと思っている。

U-19→U-23→全日本というレールが敷設され、世界学生対象のU-19・U-23の強化が上へ繋がり、全日本の北京ロードへの一助になればと考える。都道府県協会の普及への取組で、ちびっこ・NTS関係も整備されつつある。各世代の将来目標が、日本リーグ・全日本選手という様に繋がる魅力あるハンドボール界の為に学生界も協力できると思っている。

学連としては、現在、各地区学連加盟大学の部員の減少傾向が窺え、普及と共に減少歯止めにも注力している。既に、各地区学連では、部員不足でリーグ参加できない大学の為に複数大学の合併チームの参加を認めたり、テスト加盟の形でリーグを経験する準加盟を認めている。今後は、従来のリーグのみでなく、同好会や、未加盟ながらチームが結成されている大学（医歯薬リーグ他）の動向を把握し、そのチームにも門戸を開放、従来の加盟大学のみでなく、同好会も交えたオープン大会等も検討中である。

日本協会の実業団・クラブ・その他を包括した社会人構想に、大学の同好会や愛好会の加盟などから、登録チームの確保、10万人会を含めた個人登録の増加にも協力して行きたいと思っている。10万人会活動を通して、各大学のOB・OGの現場回帰（リーグ観戦・イベント参加他）へと繋げていきたい。また、同会への加入促進に繋げ、更に、加盟大学選手の親族・友人知人の４年間という期間のみでなく、日本リーグへ如何にスライドさせる事が出来る様、今後も日本協会と歩調を合わせ、微力ながらも斯界発展の為に協力して行きたいと思っている。

（世界学生選手権大会の日程及びスタッフ・選手はp.15に掲載）

第59回国民体育大会秋季大会ハンドボール競技

彩の国まごころ国体

平成16年10月23日（土）～28日（木）、埼玉県、八潮市鶴ヶ曽根体育館、八潮市立大原中学校体育館、三郷市総合体育館、吉川市総合体育館、県立吉川高等学校体育館を会場に、熱戦が繰り広げられた。
天皇杯は熊本県、皇后杯は石川県、熊本県が獲得。成年男子は地元埼玉県、成年女子は熊本県、少年男子は長崎県、少年女子は石川県がそれぞれ優勝した。詳しい報告は次号、スコアーはスコアールーム1（22ページ）参照

諸会議行われる

10月23日、八潮メセナにおいてマッチバイザー会議が埼玉県協会役員を中心にゲーム管理について打ち合わせが行われた（フォトギャラリー①）。

また、審判会議（フォトギャラリー②）では、遠藤健次埼玉県ハンドボール協会副会長の挨拶がおこなわれた（フォトギャラリー③）。また、分析班ミーティング（フォトギャラリー④）も同会場にて行われた。

続いて、同会場ホールにおいて監督・代表者会議が行われた（フォトギャラリー⑤）。日本協会から山下副会長の挨拶に続いて、浜田卓二郎埼玉県ハンドボール協会会長（フォトギャラリー⑥）の歓迎の挨拶がなされた。

全国理事長会開催

10月23日16時から、八潮商工会館会議室において平成16年度理事長会が開催された。会は上久保重次埼玉県協会理事長（フォトギャラリー⑦）の歓迎の挨拶から始まり、大西日本協会専務理事から現状報告と今後の方向性が示され、「がんばれハンドボール10万人会」事例が後藤義信福島県協会理事長（フォトギャラリー⑧）、内記英夫千葉県協会理事長（フォトギャラリー⑨）から報告された。続いて6グループに分かれて、国体改革、登録制度と登録金の改訂についてディスカッション、報告がなされた。

歓迎会

開催地市長はじめ来賓、埼玉県協会役員、都道府県協会理事長、ブロック長、日本協会役員、審判団による歓迎レセプションが行われた。（フォトギャラリー⑩：渡邉日本協会会長と遠藤埼玉県協会副会長、各市市長の皆様）

三市にて開始式

大会は10月24日から、八潮市において成年男子、少年男子、三郷市で成年女子、吉川市で少年女子が行われるため開始式も各市会場において行われた。三郷市会場では大西武三専務理事による開始宣言、田村和夫埼玉県協会副理事長を先頭に選手の入場行進（フォトギャラリー⑪）、美田長彦三郷市長の歓迎の言葉がなされて競技が開始された。

清子内親王（紀宮）殿下御来場



少年女子最終日の10月27日、清子内親王（紀宮）殿下が吉川市総合体育館にお成りになり、3位決定戦愛知県対三重県を観戦されました。ご説明役は山下泉日本ハンドボール協会副会長がおこないました。高校生のハツラツとしたプレーに盛んな声援を送られ、山下副会長の説明に盛んにうなずかれておられました。

少年女子石川県（小松市立高校）三冠達成

小松市立高校が決勝戦で熊本県を破り三冠（選抜、インターハイに続いて）を達成した。三冠達成は18年振り、3回目であり、常勝小松市立高校としても久しぶりの快挙である。小松市立高校は日本協会推薦で12月、大阪市で行われる第56回全日本総合選手権に出場する。活躍を期待したい。（フォトギャラリー⑫：優勝を応援団に報告）

Photo Gallery


①


②


③


④


⑤


⑥


⑦


⑧


⑨



⑩


⑪


⑫

高松宮記念杯第45回全日本実業団ハンド

実業団連盟の声

『観て喜び、応援して喜び、プレーして喜び』

全日本実業団ハンドボール連盟理事長　工藤　雄三



はじめに

今大会を平成16年9月8日～9月12日、高知市及び南国市にて開催いたしました。開催するにあたり、高知県ハンドボール協会並びに、行政、教育、マスコミ等の皆様、特別協賛を戴いた日本ペイント様をはじめ、多くの協賛企業様に感謝申し上げます。多くの方に支えられ、盛大、成功裏のなか感動の内に閉幕できたことを、感謝しております。

高松宮記念杯全日本実業団ハンドボール選手権大会も45回を迎え、今までの由緒ある功績を受け継ぎながら、3年前より新しいことへチャレンジをしてまいりました。現在の日本スポーツ界は、大変大きな転換期になっているものと考えます。我々企業で維持している企業スポーツの神話もすでに崩壊して幾年にもなり、又、少子化による子供のスポーツ離れが深刻化しています。日本全体のスポーツへの関心が勝ち組みと、負け組みに大きく分けられてしまいそうな危機感さえ感じられます。

全国各地で開催を

ハンドボール界も多分に洩れず、勝ち組みに残れる保障はなく、より一層の施策を投入し打開する事が最重要課題となっています。それには、世界に通じる強い日本代表チームの育成、それを支える若年層の数及び質の向上、プラス全体を支えるサポーターの拡大にあると考えます。

近年ハンドボールの試合は、都市中心でのTOPの大会開催や、日本リーグでのホーム＆アウェー方式による第3地区での開催の減少という状況にあります。以前より、日本国内の最高水準である実業団のプレーを全国の人がなかなか観戦できないでいるのが指摘されていました。微力ではありますが、全日本実業団連盟では、高松宮記念杯全日本実業団選手権大会を一つのハンドボール界の縮図と考え、『観て喜び、応援して喜び、プレーして喜び』の3つの喜びを常に頭に描き、夢や感動を与えられるように大会開催をしてきました。

開催地の決定は、各都道府県ハンドボール協会様の誘致希望を優先させ、日本全国平等に開催権をもっていただき、全て開催費用は全日本実業団連盟が負担し、県協会の皆様には観客動員と試合進行に集中していただく。微弱ではありますが、入場料収益の70％を県協会様に還元するようにしてきました。

一人でも多くのファンに巡り合え、3つの喜びの『観て』と『応援して』の2つを県協会様と実連で共創し、そのファンの中の一人でも多くがプレーに参加し、頂点である日本代表の道を目指す選手が3番目の『プレーして』の喜びに繋がるものと確信しています。

郷土の皆様との共創をプライオリティーの一番に上げ、一緒に大会の成功を成し遂げることが、これからのハンドボールが勝ち組みに残っていける重要な魂であると強く信じております。

総　括

今大会は、本来の日程どおり、9月に開催をすることができました。来年の世界選手権大会に出場します男女の全日本候補選手がたくさん参加しており、国内トップのスピードとパワーに溢れ、白熱した試合をたくさん観て頂けた事と思います。



写真提供：スポーツイベント社

ボール選手権大会



写真提供：スポーツイベント社

個人賞	【男子】	【女子】
	MVP：中川善雄（大崎電気）	MVP：呉　成玉（広島メイプルレッズ）
	ベストセブン：	ベストセブン：
	濱口　靖（大崎電気）	浅井友可里（広島メイプルレッズ）
	宮崎大輔（大崎電気）	青戸あかね（広島メイプルレッズ）
	岩本真典（大崎電気）	大前典子（広島メイプルレッズ）
	下川真良（湧永製薬）	金　鎮順（広島メイプルレッズ）
	山口　修（湧永製薬）	坂元智子（オムロン）
	金　性憲（大同特殊鋼）	洪　延昊（オムロン）
	呉　相民（アラコ九州）	中村尚美（北國銀行）
	優秀監督賞：首藤信一（大崎電気）	優秀監督賞：林　五卿（広島メイプルレッズ）
	新人賞：宮崎大輔（大崎電気）	新人賞：東濱裕子（オムロン）

今年度の成績は、男子は古豪大崎電気が17年ぶり復活（13回目）、女子では広島メイプルレッズが4年連続（6回目）優勝を成し遂げました。大変おめでとうございます。試合の内容ですが、男女とも全日本候補選手の出場で非常に高いレベルの試合が多く、白熱した内容で大会は大いに盛り上がりをみせました。

特に大崎電気は、宮崎選手の加入で攻撃力がアップし、どこからでも得点を狙えるチームでありました。MVPは、攻守で活躍の光った中川選手が受賞し、チーム状況をそのまま映し出した結果となりました。

一方、女子は予選リーグ及び準決勝まで安定した力を発揮し、決勝戦でもオムロンとの試合を制した、広島メイプルレッズが4年連続6回目の優勝を手にいたしました。MVPは、アテネオリンピックで韓国の準優勝に貢献した呉選手が安定したプレーで受賞しました。

選手の皆様が大きな怪我をしたということもなく、我々大会本部もホッとしている状況です。これからも、記憶に残る素晴らしいプレーを期待して、報告といたします。

（大会結果は、スコアールーム②：p.23に掲載）

男子優勝チームの声

次へ、大会を振り返って

大崎電気監督　首藤　信一



高松宮杯記念第45回全日本実業団選手権大会において、大崎電気チームが17年ぶりに13回目の優勝を飾ることが出来ました。今まで応援して下さったファンの皆様はじめ、チームをサポートして下さった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

今大会（今シーズン）に向けて、DFを向上させるには、1対1の守備の強化が必要と考えました。更にフィジカル面、股関節の柔軟性と強化、基本動作、技術の徹底した反復練習を行いました。大会を振り返ってみても、昨年より警告、退場、連続失点が減少していました。激しいDFから速攻、セットディフェンスに繋げ、安定した試合運びの出来たことが勝因としてあげられます。攻撃面に関しては個人技に頼る面が多く、個人技と組織力のバランスが取れれば更なるレベルアップが図れると思います。選手達には、常に強い意志と目標を持ち、向上心を忘れず練習、試合に取り組む姿勢を今後も追求していきたいと思います。

最後になりましたが、日本協会、実業団連盟、高知県協会の役員の方々、審判の方々には大変お世話になりました。選手共々感謝しております。これからも感謝の気持ちを忘れず、日々努力を重ねていきたいと思います。

これからが大事ですね!!

大崎電気主将　中川　善雄



私たち大崎電気は実業団選手権大会において、17年ぶりに優勝の栄冠を手にすることが出来ました。

今年の春先から、“DFの強化”をチームの柱とし、基本に戻る意味でも、主に1対1のトレーニングを反復してきました。個人的にも、またチーム全員“今年は優勝しなければ”という思いが強く、その意気込みが日々のトレーニングにも現れていたと思いま

す。

今年はトレーニングの時間も、２～３時間に短縮し、とにかく“集中する”ことにしました。試合では春先からやってきたトレーニングを“信じる”、自分に“自信”を持つことに終始しました。大崎電気には 19 人の選手が在籍していますが、選手全員実業団での日本一の経験はなく、今回の優勝経験が本当に価値のあるものになったと思います。

今後、様々な大会が続きますが、この結果に慢心することなく日々のトレーニングに取り組んでいきたいと思います。最後に応援して下さったファンの皆様、大会を盛り上げて頂いた関係者の皆様方に深く感謝し、お礼を申し上げます。

“本当にありがとうございました!!”

これからも宜しくお願いいたします。



写真提供：スポーツイベント社

女子優勝チームの声

「斯くして頂点に」

広島メイプルレッズ総監督　平田　幸男



多くの方々より厚いご支援を賜り、お陰様で第 45 回全日本実業団選手権大会を４連覇という偉業を打ち立て、次への大切なステップが踏めたと信じます。振り返ればアテネに大黒柱の林監督、呉選手を出場させ、２ヶ月の空白を余儀なくと思いきや、広島を離れる２週前より日常練習の後に林監督スタイルの厳しい野外トレーニングが企画されました。瞬発力、持久力の養成で、思えば留守中の選手に賭けた気迫の育成だったのです。

次に、短い日程でしたが湧永製薬を退職された酒巻元監督より攻撃面でのバリエーションをもたらせて下さったことは大きかったと思います。更に全選手が結束し、総合メニューに対し努力を傾倒して取り組んだ諸々が効を奏しての頂点と確信しています。



写真提供：スポーツイベント社

最後になりますが、高知市での選手権前夜に久しぶりに林監督、呉選手と話をしました。「オリンピックのメダルおめでとう。決勝戦のあの素晴らしい映像は関係者に大きな誇りと勇気を与えてくれましたよ！」林監督、呉選手と堅い握手をした時は胸が熱くなりました。始まったばかりの国内大会、今年も頂点を目指し広島メイプルレッズは着実に邁進いたします。

今後共よろしく応援お願い申し上げ、報告と致します。

大会を終えて

広島メイプルレッズ主将　青戸　あかね



高松宮杯記念第 45 回全日本実業団ハンドボール選手権大会において、優勝という結果が残せ、大変うれしく思います。

大会前日まで、林監督、呉コーチは韓国代表としてアテネオリンピックに出場しチームを離れていましたので、コンビを合わす間もなく大会に入りました。不安な気持ちを隠しながら一試合一試合を戦っていましたので、タイムアップのホイッスルを聞いた時は、安堵の気持ちが先行し、「ホッとした」というのが選手一同の声でありました。優勝をしたという実感が湧き、嬉しいという気持ちがこみ上げてきたのは帰りのバスの中でした。

広島メイプルレッズ会員の皆様、全国のファンの皆様、各スポンサーの方々、多大なるご声援ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ハンドボールが全国の皆様にもっと愛されるスポーツになるように、「I LOVE HANDBALL」を合い言葉にこれからも頑張って参りたいと思います。

平成16年度 第56回全日本総合ハンドボール選手権大会

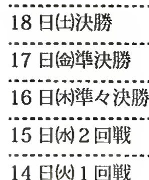
国体優勝後の小松市立高

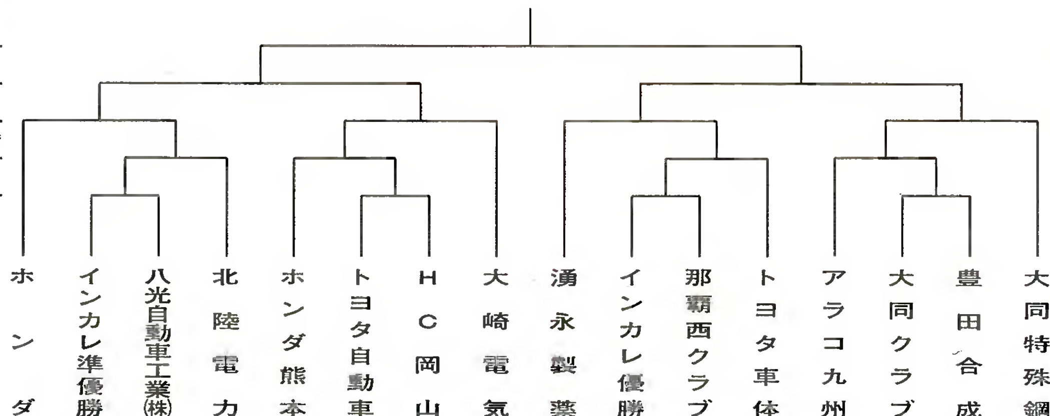
12月14日（火）～18日（土）まで、大阪市中央体育館を会場に表記大会が開催。

主催：（財）日本ハンドボール協会、主管：大阪府ハンドボール協会、大阪市ハンドボール協会、特別後援：読売新聞社、後援：（財）日本体育協会、（財）日本オリンピック委員会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、（財）大阪府体育協会、（財）大阪市体育協会、協賛：（株）アシックス、（株）モルテン

今年最後の日本一を決める大会。日本リーグは混戦模様で男女とも実力伯仲。来年に国体を控え、ジャパンオープンで男女アベック優勝したHC岡山の健闘はいかに。久々に高校生として全日本総合出場を決めた女子小松市立高校は選抜、インターハイ、国体の三冠後でもあり、そのチャレンジに期待したい。話題盛りだくさんの今大会をご期待下さい。

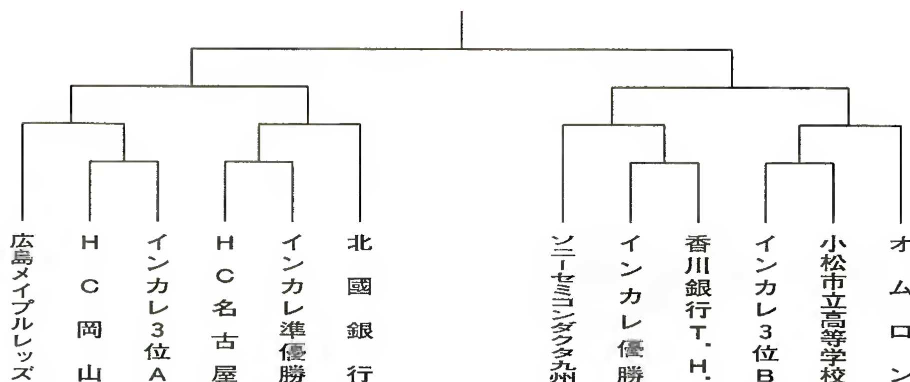
男子





女子





月　日	時　間	試　合
12月14日（火）	13：00-	男子1回戦（2コート）
	14：30-	男子1回戦（2コート）
12月15日（水）	13：00-	女子1回戦（2コート）
	14：30-	女子1回戦（2コート）
	16：00-	男子2回戦（2コート）
	17：30-	男子2回戦（2コート）
12月16日（木）	13：00-	女子準々決勝（2コート）
	14：30-	女子準々決勝（2コート）
	16：00-	男子準々決勝（2コート）
	17：30-	男子準々決勝（2コート）
12月17日（金）	13：00-	女子準決勝（2コート）
	14：30-	男子準決勝（2コート）
12月18日（土）	13：00-	女子決勝
	15：00-	男子決勝
	終了後	表彰式

平成16年度全日本総合選手権大会審判員

審判長　齊藤　實	
副審判長　小山　勉	
審判員	
浜田浩和（東京）	小笠原久郎（北海道）
仲田　稔（千葉）	植村　彰（千葉）
藤井俊朗（岡山）	大熨嘉彦（岡山）
安田　寛（東京）	永春文義（東京）
福田　弘（茨城）	富田　拓（茨城）
久保　博（広島）	高野　修（広島）
浜角智之（島根）	山本　淳（島根）
佐路清孝（京都）	佐藤　晃（京都）
リザーブ	
亀山耕司（北海道）	水谷省一（北海道）
武智誠治（愛媛）	定岡孝明（愛媛）
黒木龍二（東京）	黒木秀吾（東京）

国際審判員の家永昌樹・福島亮一ペアは、世界学生選手権（ロシア）に帯同のため参加しない。

★テレビ放送されます：12月18日（土）15：00～ 男子決勝戦 NHK教育テレビ

第12回
中・日・韓ジュニア交流競技会

全国高体連ハンドボール専門部部長　宇佐美 幸彦



今大会より全国高体連ハンドボール専門部として初めて選抜チームを編成して参加いたしました。選手の発掘、選考、本大会の全てを運営することとなり、男子監督：高橋精一氏（桃山学院高校）、コーチ:大房重則氏（高岡向陵高校）、女子監督：繁田順子氏（四天王寺高校）コーチ：河先修氏（栃木商業高校）の先生方に御尽力頂き選手を決定いたしました。

選手選考について

選考は国体のブロック大会に重ならない地区から行いました。選考内容は、基本技能、面接、身体能力テスト及びゲームで、それぞれのポジションにおいての能力分析を行いました。選考基準は以下の６項目です。

①希望ポジションで技術的に秀でている選手
②身体能力テストの数値の高い選手
③スポーツマンとしての姿勢、言動、マナーの素晴らしい選手
④第 27 回全国選抜大会の戦績
⑤将来、日本代表選手としての可能性を秘めた選手
⑥その他



大会内容について

試合日程については６泊７日で２試合ですから強行軍ではありません。しかし、選手は食事に悩まされ、苦慮した者が多く、体調を崩す者が続出しました。

男子

◆第一戦：８月 25 日
日本 31（13-15,18-20）35 富川工業（韓国）

韓国は今年度 No.1 の富川工業の単独校で臨んできました。前半立ち上がりから互角の勝負となり、日本のエース谷村（フローター）、新名（ポスト）の機動力ある攻撃で韓国に食らいつき、闘志溢れる DF で相手の攻撃を押さえながら２点差で前半を終了。後半は立ち上がり、日本のミス続出で追いつけるチャンスにノーマークシュートをはずしたり、ラインクロス等が相次ぎ、前半の２点差を覆すことが出来なかった。最終に粘りきったものの４点差で惜敗した。

◆第二戦：８月 26 日
日本 44（20-15,24-13）28 中国

中国は長身選手を揃えて臨んできました。190cm 台が３名で、他の全員が 180cm を越えるチームでした。日本チームは昨日の敗戦から気持ちを切り替えて、立ち上がりの堅い守りからスピードあふれる攻撃を展開する。フローター陣の活躍もあり要所を締めて相手に主導権を与えず、守りからの速攻も冴え、後半は日本の速攻によりワンサイドになり一戦必勝の気持ちで快勝しました。

第 12 回中・日・韓ジュニア交流競技会参加名簿　男子・女子

団長	宇佐美　幸彦

男子監督	高橋　精一
コーチ	大房　重則

女子監督	繁田　順子
コーチ	河先　修

	No.	氏名	所属高校	身長	利き腕	学年
GK	1	工藤　義博	不来方高	183	左	2 年
GK	12	久保　有希	久留米工大附高	196	右	3 年
CP	②	西川　由朗	香川中央高	175	右	3 年
CP	3	小山　太三	上宮高	171	左	3 年
CP	4	松本　勇樹	香川中央高	172	左	2 年
CP	5	薗田　卓麿	小林工業高	174	右	3 年
CP	6	久保田　健一	千原台高	179	右	3 年
CP	7	村上　勝久	千原台高	181	右	3 年
CP	8	新名　功	香川中央高	183	右	3 年
CP	9	谷村　遼太	高松高	186	右	3 年
CP	10	森　淳	此花学院高	188	右	3 年
CP	11	木村　雅俊	桃山学院高	189	右	3 年

平均身長 181.4cm

	No.	氏名	所属高校	身長	利き腕	学年
GK	1	寺田　三友紀	洛北高	170	右	3 年
GK	12	坂嵜　友紀	暁高	171	右	3 年
CP	2	山下　裕美子	桜花学園高	170	右	3 年
CP	3	大河内　香	郡山東高	170	右	3 年
CP	4	荒木　佳子	暁高	166	右	3 年
CP	5	山本　沙織	聖和女子学院高	166	左	3 年
CP	6	住野　有梨	夙川学院高	165	右	3 年
CP	7	野田　えりか	洛北高	162	右	3 年
CP	8	八重　安由美	香川中央高	162	右	3 年
CP	⑨	高橋　恵	桜花学園高	160	左	3 年
CP	10	本田　麗奈	松橋高	150	右	3 年
CP	11	中久保　裕美	四天王寺高	162	右	2 年

平均身長 164.5cm

女子

◆第一戦：8 月 25 日

日本 28（13-16,15-16）32 中国

今年の中国は長身選手を揃えた大型チームで臨んできました。180cm 台後半の選手３名で、平均身長は 177cm の大型単独チームでした。日本はスタート８分まではよく走り、リードしましたが身長差に勝る中国チームを攻めあぐみ前半３点リードされて終了。後半戦を期待したものの、出場選手全員の身長差からか、制空権を支配されたゲームであり、何ともしがたいゲーム内容であった。因みに、この大型チームには韓国チーム７点差で敗退した。

◆第二戦：8 月 26 日

日本 20（11-16,9-11）27 韓国

今年の韓国チームは、体格的にも日本チームと同じくらいであり、少々力の落ちている感があった。今年こそは勝利しなければと思っていました。しかし、ゲームが始まると韓国特有の切れの良いフェイントと、カットインプレーでずらされ、ノーマークシュートを決められる。今年こそはと思うが、選手の方には韓国に対するコンプレックスがあるようで、気後れする場面が見られる感がありました。善戦するが、７点差の負けであった。

最後に、３年後の北京大会予選までに日本のハンドボールは高校生の段階で韓国に勝たなければならない。中国に追いつかなければならない。その様なことを雑感ながら感じる大会でありました。



「21世紀のスポーツマネジメント」
―GM（ゼネラル・マネージャー）のはたす役割―



講師　学術博士 原田 宗彦氏（大阪体育大学大学院教授）

平成16年9月5日（日）、日本青年館において日本ハンドボール機構「マネジメント・シンポジウム」が開催されました。参加者は日本リーグ所属チームから部長や監督、日本リーグからは市原則之会長、山下泉副会長、川上憲太委員会委員長ら総勢48名でした。
社会環境が変化する現在、スポーツ界は生き残りをかけてダイナミックに動いています。リーグ機構では1チームの勝利のためだけでなくリーグとして何を提供するのか、観客動員、サポーターの獲得や地域貢献、GM（ゼネラル・マネージャー）の育成などについてが話題となっています。これらの問題解決のため、原田宗彦氏（大阪体育大学大学院教授）を招き「21世紀のスポーツマネジメント」と題して基調講演をお願いいたしました。今号におきましては、その講演要旨を報告いたします。
（文責：機関誌編集委員会）

トップリーグを取り巻く現状

現在日本のトップリーグは大変厳しく、あらゆる競技で完全に軌道に乗せたチームはないといえます。日本のスポーツの歴史は、学校体育→社会体育→生涯スポーツと進み、今後はマネジメントスポーツ、マーケティングスポーツへと発展していくものと考えられます。マネジメントとは不況の中崩れてきた企業とチームの関係を、新たな企業と地域関係、チームが企業に還元するメリットを構築するものです。娯楽の多い現代においてスポーツを如何に多くの人に選んでもらうかのサバイバルレースは始まっています。そのためにはスポーツにはブランド力が必要であり、国際競技力も重要な要素となります。

GM（ゼネラル・マネージャー）の役割

チームの目標は勝利ですからチーム間での競争は必要です。しかし、リーグとしては協力も必要になります。リーグとして盛り上がるためには戦力の均衡が不可欠です。この相反する競争と協力を取り持つ者がGMであると考えられます。GMの仕事は確立されていませんし、何でも屋といえるかもしれません。そして、GMの最も重要な仕事はチーム資産の検証で、そのことについてお話しさせて頂きます。

チーム内においては営業と強化、監督選び、選手のリクルート、チーム外においてはチームの顔として親会社、地域、サポーター、後援会との折衝を行います。

クラブマネジメントのスタートは強いチームを作ること、続いてチームとファンの強固な関係を作り、財政的成功をさせることです。GMは常に多忙で、ある1部JリーグのGMは1年間にグランドに出向くことは1、2回だと言うことです。

観客動員対策

試合会場に観客を集める仕事はGMの仕事の中でも最上位に位置します。観客はタダ券をいくらまいても来てくれません。観客が集まる要素の第一はゲームの面白さです。それは感動であり、スペクタクル性を伴わなければならないのです。更に観客が最も来やすい時間、場所、価格の設定も大切です。

観客、それも潜在的にハンドボールに興味を持っている人を会場に集めるためには調査が必要です。そのためには、貧者の武器と呼ばれるインターネットの活用が不可欠となることは言うまでもありません。

何を売るのか

なぜ人はスポーツを見るために会場に足を運ぶのでしょうか。家を出て、交通機関を使い、会場で2時間、更に帰りの時間を入れれば5～6時間を費やします。それはエキサイティングな時間を家族と、友人と共有し、さらに夜の話題とするためです。マクドナルドはハンバーガーを売っているようだが、一般の人には時間を、子供には夢を売っていると言われます。果たしてハンドボール競技の商品とは何か考える必要があります。

講師略歴

1954 年　大阪府生まれ
1977 年　京都教育大学教育学部卒業
1979 年　筑波大学大学院体育研究科修了
1984 年　ペンシルバニア州立大学
　　　　健康・体育・レクリエーション学部博士課程修了（Ph.D.）
1987 年　鹿屋体育大学助手
1995 年　フルブライト上級研究員（テキサス A&M 大学）
現　在　大阪体育大学体育学部教授

役　職
Jリーグ経営諮問委員会委員
JOC ゴールドプラン委員会委員
スポーツ振興基金審査委員
大阪市都市計画審議会委員
日本スポーツ産業学会理事
日本体育・スポーツ経営学会理事　他多数


講演する原田氏


会議では活発な議論がなされた

スポーツの適正価格とは

先にタダ券をいくらばらまいても客は来ないと言いました。例えばコーヒーについて考えてみましょう。スーパーで粉を買えば一杯 10 円、自動販売機では 110 円、スターバックスでは 350 円ですが、ホテルのロビーで人は一杯のコーヒーに 1000 円払います。適正価格とは客が対価として支払う価値があるかが判断基準となります。そのためにもハンドボールの価値を高める必要があるのです。

コアファンの獲得

マーケティングの基本は消費者の志向を知ること（聞く耳を持つこと）です。今までのスポーツ界では売り方が主体として販売する傾向が強かったのではないでしょうか。

ファンの志向を知るためには、まずコアファンを獲得することです。水曜の夜でも、寒くとも、雨が降っていても会場に足を運ぶ運命共同体のようにチームを考えてくれるのがコアファンです。このコアファンを大切にし、彼らを核としてファンを獲得していく。そのためにもファンのデータベース化は不可欠です。NBA では 100 万人分のデータベースがあると言われています。

CSR（企業の社会的責任）とは

これからの社会では企業の社会参加、社会貢献がより多く求められてきます。企業はスポーツを通して地域貢献をアピールすることが出来るのです。GM の仕事はスポーツ活動を通して親会社へ価値還元をしなければならないのです。

最後に

このように GM の仕事は多岐にわたります。そして、GM は目的達成のために常に動き続け、常に新しい提案をし続けていかなければなりません。競技力が経営力と表裏一体であることは言うに及ばず、チームをブランド化させる必要があります。そしてチームを核に、オーナー、コーチ、選手、ファンを常に引きつけ続けなければなりません。

最後になりますが、2008 年（北京オリンピック）を見据えた運営がスポーツ競技団体、トップリーグに必要であることは言うまでもありません。

原田氏の講演の後、参加者が 4 つのグループに分かれて観客動員、サポーター獲得と地域貢献などについてワークショップを行い、発表の後、原田氏からアドバイスを頂きました。

また、オブザーバーとして参加されました石原良三氏（(財)大崎企業スポーツ事業研究助成財団）、安達宣郎氏（トップリーグ連携協議会／バスケットボール女子日本リーグ機構）、岡野昌弘氏（トップリーグ連携協議会／Vリーグ機構副会長・実行委員長）から講評を受けました。


石原氏　安達氏　岡野氏

大先輩の激励に応えよう

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw（フリースロー）

早いものでもう歳末を迎えた。今年のハンドボール界は喜びと無念さが交錯したように思う。新しい年はさらなる球界の飛躍を目指して、斬新なアイデアを出し合いたいものである。

ところで先日、大先輩から丁重な励ましの便りをいただいた。愛媛県松山市にお住まいの越智武さんだ。ハンドボールが第３回全日本選手権を兼ねて参加した1940年の明治神宮大会決勝で笛を吹かれており、戦後の混乱期、1946年にはいち早く私立新田中にハンドボール部を創立、愛媛県はもとより四国地域の普及・発展に尽力された方である。また、今年夏には日本協会に寄付もされるなど、ハンドボールの発展を強く願っておられる大先輩だ。

さて、その文面からはものすごい情熱が伝わってくるが、なかでも審判制度への熱い思いがつづられており、とくに女性審判の誕生を心から喜んでおられる様子が手に取るように分かる。

また、審判の資質向上を切に願われ「全国レベルで大切なのが笛」と指摘され、大切なのは「自信と信念」と述べられている。

確かにレフェリーは大変な任務である。ハンドボールに限らず、あらゆるスポーツにおいて選手あるいは監督・コーチらから不平・不満がぶつけられることが多い。高度なジャッジのほか、選手とのコミュニケーションなどいかにうまくゲームをコントロールするかも大きな要素だろう。

公平なジャッジを常に心掛けることは言うまでもないが、トップレベルになればなるほど、神経も磨り減るだろう。現在、レフェリー確保が難しいという切実な問題も抱えている。しかし、魅力あるゲームをすることによって満足感もあるのではなかろうか。

トップレベルのゲームになればなるほど、その技術の高さが問われる。一朝一夕に高度な技術を求めるのは無理というもので、やはりある程度の年月と意欲が必要だろう。

審判講習会でもレベル向上に懸命に取り組まれているのは言うまでもないが、時には「審判の権威」とばかり、伝家の宝刀を抜く場面が時折見受けられるのは悲しい。試合後にチームから「ありがとう」と言われるくらいのコミュニケーションがあればと思う。世界へはばたくのは選手だけではない。世界を目指すレフェリーにも大先輩の励ましはありがたい。



第29回日本ハンドボールリーグ
レギュラーシーズン日程表 (第9週～プレーオフ)

週	月日	開催地都道府県	会場	1部男子 時間	1部男子 組合せ	1部女子 時間	1部女子 組合せ	2部男子 時間	2部男子 組合せ
9	11月27日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北国銀行vsメイプルレッズ		
		愛知県	豊田合成㈱健康管理センター					14:00	豊田合成vs大阪ガス
		宮崎県	宮崎市総合体育館	13:50	湧永製薬vs大同特殊鋼			12:00	トヨタ自動車vs北陸電力
	11月28日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	11:00	アラコ九州vs大崎電気				
		熊本県	天草工業高校体育館	13:00	ホンダ熊本vsトヨタ車体				
10	12月4日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア					14:00	北陸電力vsHC東京
		愛知県	中村スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼vsホンダ				
		愛知県	刈谷市体育館	15:00	トヨタ車体vs大崎電気				
		兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					15:00	大阪ガスvsトヨタ自動車
		福岡県	福岡市民体育館	16:00	湧永製薬vsアラコ九州	14:00	北国銀行vsオムロン		
11	12月23日(木)	愛知県	知立市福祉体育館	14:00	トヨタ車体vs湧永製薬				
		佐賀県	アラコ九州クレインアリーナ	18:00	アラコ九州vsホンダ				
12	1月22日(土)	愛知県	豊田合成㈱健康管理センター					14:00	豊田合成vsHC東京
		兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					15:00	大阪ガスvs北陸電力
		鹿児島	ソニーセミコンダクタ九州㈱体育館			13:00	ソニーvsHC名古屋		
	1月23日(日)	広島県	東区スポーツセンター			13:00	メイプルレッズvsオムロン		
13	1月29日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア					14:00	北陸電力vs豊田合成
		広島県	東区スポーツセンター			13:00	メイプルレッズvsHC名古屋		
	1月30日(日)	鹿児島県	出水市総合体育館			13:00	ソニーvsオムロン		
14	2月5日(土)	岐阜県	岐阜アリーナ			14:00	HC名古屋vs北国銀行	11:00	トヨタ自動車vs豊田合成
		鹿児島県	ソニーセミコンダクタ九州㈱体育館			13:00	ソニーvsメイプルレッズ		
15	2月11日(金)	広島県	湧永満之記念体育館	13:00	湧永製薬vsホンダ熊本				
		香川県	香川町総合体育館	13:30	アラコ九州vs大同特殊鋼				
	2月12日(土)	東京都	駒沢体育館	15:00	大崎電気vsホンダ			13:30	HC東京vsトヨタ自動車
	2月13日(日)	石川県	小松総合体育館			13:00	北国銀行vsソニー		
16	2月19日(土)	東京都	駒沢屋内球技場					17:00	HC東京vs大阪ガス
		京都府	京都市体育館			15:00	オムロンvsHC名古屋		
		福岡県	大牟田市民体育館	13:00	大崎電気vsアラコ九州				
				15:00	ホンダvsトヨタ車体				
		長崎県	長崎県立総合体育館	12:00	ホンダ熊本vs大同特殊鋼				
	2月20日(日)	石川県	小松総合体育館			13:00	北国銀行vsメイプルレッズ		
		佐賀県	神埼中央公園体育館	13:00	アラコ九州vs湧永製薬				
		熊本県	大津町運動公園総合体育館	13:00	トヨタ車体vs大同特殊鋼				
				14:40	ホンダ熊本vsホンダ				
17	2月23日(水)	埼玉県	富士見市立市民総合体育	18:30	大崎電気vs湧永製薬				
		愛知県	東海市民体育館	18:30	大同特殊鋼vsホンダ				
	2月24日(木)	佐賀県	アラコ九州クレインアリーナ	18:00	アラコ九州vsホンダ熊本				
	2月26日(土)	愛知県	ブラザー工業体育館			16:00	HC名古屋vsソニー	12:00	豊田合成vs大阪ガス
								14:00	トヨタ自動車vs北陸電力
		広島県	東区スポーツセンター	13:00	湧永製薬vs大同特殊鋼				
	2月27日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	11:00	アラコ九州vsトヨタ車体				
		熊本県	玉名市桃田運動公園総合	14:40	ホンダ熊本vs大崎電気	13:00	オムロンvs北国銀行		
18	3月5日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア					14:00	北陸電力vsHC東京
		愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼vs大崎電気				
		三重県	鈴鹿市体育館	14:00	ホンダvs湧永製薬				
		広島県	東区スポーツセンター			13:00	メイプルレッズvsオムロン		
	3月6日(日)	愛知県	知立市福祉体育館	14:00	トヨタ車体vsホンダ熊本				
		兵庫県	大阪ガス今津総合グランド					14:00	大阪ガスvsトヨタ自動車

入替戦	3月20日(日)	東京都	駒沢体育館	10:00	男子入替戦(1部7位vs2部1位)

プレーオフ	3月19日(土)	東京都	駒沢体育館	13:00	(1)女子プレーオフ準決勝(通算2位vs通算3位)
				15:00	(2)男子プレーオフ準決勝(通算1位vs通算4位)
				17:00	(3)男子プレーオフ準決勝(通算2位vs通算3位)
	3月20日(日)	東京都	駒沢体育館	13:00	女子プレーオフ決勝(通算1位vs(1)の勝者)
				15:00	男子プレーオフ決勝((2)の勝者vs(3)の勝者)

◎JHLホームページにチーム情報、全日程、会場案内を掲載しています。
http://www.jhl.handball.jp/
http://www.jhl.handball.jp/i/ (i-mode対応用)

学連便り

男子第17回・女子第6回世界学生選手権大会

当初、6月にブルガリアにて女子、12月にロシアにて男子が開催予定であった。しかし、ブルガリアの事情から女子開催が中止となり、急遽、男子開催予定であるロシアにて同時開催となった。開催都市のチェリャビンスクはモスクワから真東、1,700km 離れたところに位置している。同国のスーパーリーグに2チームが所属し、ハンドボールはメジャー種目に格付けされていると前スングル（スーパーリーグ）監督セルゲイ氏から聞いている。

男子はブラジル大会参加予定の選手が6名含まれている。女子は U-19 からの選手も含まれ、ジュニア大会等国際試合の経験のある選手も多い。

男女共に参加国などがハッキリしないが、スピードある攻撃で上位入賞・ベスト4を目標としている。

◇男子
12月20日(月) 出発、モスクワ経由にて
21日(火) チェリャビンスク到着
22日(水)～27日(月) トレーニング及び試合
28日(火) 大会開幕
1月 4日(火) 大会閉幕
5日(水) チェリャビンスク出発
6日(木) 帰国予定

◇女子
12月21日(火) 出発、モスクワ経由にて
22日(水) チェリャビンスク到着
23日(木)～27日(月) トレーニング及び試合
28日(火) 大会開幕
1月 4日(火) 大会閉幕
6日(木) チェリャビンスク出発
7日(金) 帰国予定

※チェリャビンスクからのフライトの関係で、男女の出発・帰団にタイムラグがある。

男女世界学生選手権大会選手団名簿

チームリーダー	福地賢介	日本ハンドボール協会理事・全日本学連理事長
ドクター	沖本信和	日本ハンドボール協会医科学委員会・九州産業医科大学
帯同レフェリー	家永昌樹	日本ハンドボール協会審判委員会・国際審判員
帯同レフェリー	福島亮一	日木ハンドボール協会審判委員会・国際審判員

男子

テクニカルディレクター	松　喜美夫	日本ハンドボール協会強化委員
ヘッドコーチ	田村修治	全日本U－23男子監督
コーチ	佐藤壮一郎	全日本U－23男子コーチ
トレーナー	永井正之	ながい接骨院

番号	位置	氏名	所属	学年	出身学校
1	GK	浦和克行	大崎電気	―	日本体育大学
2	GK	志水孝行	大阪体育大学	3年	瓊浦高等学校
3	CP	猪妻正活	大崎電気	―	早稲田大学
4	CP	嘉古田奨吾	日本体育大学	4年	千原台高校
5	CP	渡久川兼太	日本体育大学	4年	那覇西高校
6	CP	安藤　聡	大阪体育大学	4年	香川中央高校
7	CP	藤田聖史	中部大学	4年	国分高等学校
8	CP	内田雄士	日本大学	3年	熊本市商高校
9	CP	武田　亨	国士舘大学	4年	東根工業高校
10	CP	門山哲也	日本大学	3年	浦和市立高校
11	CP	東長濱秀作	日本体育大学	3年	興南高校
12	CP	岩永　生	筑波大学	3年	瓊浦高等学校
13	CP	冨田恭介	中部大学	3年	富岡高等学校
14	CP	武藤　剛	日本体育大学	3年	横浜商工高校
15	CP	浦田悠司	日本体育大学	3年	熊本国府高校
16	CP	兼本浩誉	桃山学院大学	3年	桃山学院高校

女子

テクニカルディレクター	樫塚正一	日本ハンドボール協会強化委員
ヘッドコーチ	池田　修	全日本U－23女子監督
コーチ	三輪一義	全日本U－23女子コーチ
トレーナー	西山圭介	神村学園

番号	位置	氏名	所属	学年	出身学校
1	GK	竹鼻瑶子	筑波大学	3年	盛岡第二高校
2	GK	木澤尚子	日本体育大学	4年	初芝橋本高校
3	CP	矢野佳代	武庫川女子大学	3年	今治南高校
4	CP	吉田祥子	オムロン	―	東京女子体大
5	CP	樋口真央	筑波大学	2年	桜花学園高校
6	CP	内冨仁美	筑波大学	2年	華陵高等学校
7	CP	久野　葵	東京女子体育大学	4年	文大杉並高校
8	CP	今井　綾	東京女子体育大学	4年	桜花学園高校
9	CP	安斎千尋	東京女子体育大学	4年	浦和実業高校
10	CP	五月女美代	東京女子体育大学	2年	埼玉栄高校
11	CP	大津由香利	日本体育大学	4年	大分鶴崎高校
12	CP	高野敬子	武庫川女子大学	2年	熊本市立高校
13	CP	伊藤亜衣美	武庫川女子大学	3年	暁高等学校
14	CP	植垣暁恵	大阪教育大学	2年	宣真高等学校
15	CP	上原末子	福岡教育大学	3年	浦添高等学校
16	CP	池田まり子	福岡教育大学	3年	筑紫女学園高
17	CP	伊藤　瞳	福岡教育大学	3年	大分鶴崎高校

NTS2004報告

NTSコーディネーター　栗山雅倫

いよいよセンタートレーニングが迫ってまいりました。

すでに日本協会ホームページにて、公開させていただいておりますが、今回は中学生、U16のメンバーをご紹介させていただきます。

中学生男子

都道府県名	選手名	学校・チーム名
北海道	石井雄平	札幌市立藤野中学校
北海道	田中翔太	函館市立本通中学校
岩手	中村健祐	矢巾町立矢巾中学校
岩手	佐々木 喬也	盛岡市立城西中学校
福島	服部 裕	いわき市立小川中学校
茨城	信太弘樹	麻生町立麻生中学校
群馬	野口大喜	甘楽町立第一中学校
群馬	長井大貴	下仁田町立下仁田中学校
群馬	篠崎 剛	富岡市立富岡東中学校
東京	根本寛秋	台東区立駒形中学校
山梨	日原智晴	塩山市立松里中学校
茨城	寺田弘太	守谷市立けやき台中学校
茨城	藏薗亮太	守谷市立けやき台中学校
神奈川	牧山仁志	川崎市立西中原中学校
長野	関 勇太	更埴市立埴生中学校
富山	藤 佑彌	氷見市立西条中学校
福井	杉本拓哉	福井市立光陽中学校
愛知	土居良恵	流名古屋市立御幸山中学校
愛知	山本修平	名古屋市立宮中学校
愛知	高橋昌裕	知立市立知立南中学校
岐阜	日比野 起年	大垣市立西部中学校
岐阜	中里栄二	高山市立中山中学校
三重	平子卓人	鈴鹿市立白子中学校
大阪	植垣貴志	私立大体大附属中学校
大阪	久保賢人	私立大体大附属中学校
大阪	香西佑哉	大阪市立東中学校
京都	成田幸平	京都市立下鴨中学校
京都	石崎 風	京田辺市立培良中学校
奈良	石原 裕	生駒市立上中学校
奈良	前田和哉	五條市立五條中学校
滋賀	横山克人	彦根市立鳥居本中学校
山口	清水拓馬	周南市立岐陽中学校
山口	雑賀弘児	岩国市立通津中学校
岡山	吉田祐貴	岡山市立操南中学校
愛媛	武智正浩	松山市立久米中学校
香川	田所 翼	綾南町立綾南中学校
香川	久保 龍太郎	香川町立香川第一中学校
佐賀	島田哲郎	私立東明館中学校
熊本	浅井和朗	松橋町立松橋中学校
宮崎	西川翔也	小林市立三松中学校
宮崎	椎原武史	小林市立三松中学校
沖縄	今元勇輝	那覇市立小禄中学校
沖縄	比嘉一薫	具志川市立具志川中学校
沖縄	喜納 健士朗	浦添市立浦西中学校
沖縄	東江太輝	浦添市立神森中学校
沖縄	嘉陽宗亮	浦添市立神森中学校
沖縄	花城幸優	浦添市立神森中学校

中学生女子

都道府県名	選手名	学校・チーム名
岩手	三上美愛	矢巾町立矢巾北中学校
岩手	河村 奈恵子	矢巾町立矢巾北中学校
岩手	吉田起子	盛岡市立見前中学校
山形	菅野 舞菜美	尾花沢市立尾花沢中学校
埼玉	樽井沙織	春日部市立大増中学校
千葉	吉沢佳奈	市川市立大洲中学校
栃木	日下部 茜	野木町立野木中学校
神奈川	橋本千里	川崎市立西中原中学校
栃木	山井 佑利恵	栃木市立吹上中学校
石川	藤井 保奈美	小松市立芦城中学校
石川	三輪夏巳	小松市立南部中学校
石川	中西朋代	加賀市立山代中学校
富山	高井静可	氷見市立氷見南部中学校
福井	黒田佑子	福井市立森田中学校
愛知	佐々木 美日	蒲郡市立大塚中学校
愛知	比嘉桃子	名古屋市立神沢中学校
愛知	杉浦沙希	知立市立竜北中学校
愛知	高橋薫乃	名古屋市立宝神中学校
岐阜	宇津宮奈都美	高山市立日枝中学校
三重	万谷由衣	四日市市立笹川中学校
大阪	戎野 満梨奈	大阪市立住吉第一中学校
大阪	森脇奈菜	堺市立上野芝中学校
大阪	上山史織	岸和田市立久米田中学校
奈良	宇野 歩	生駒市立大瀬中学校
奈良	三宅淳未	生駒市立上中学校
奈良	乾 彩友美	生駒市立上中学校
兵庫	岡田好美	神戸市立横尾中学校
和歌山	永吉未命	岩出町立岩出中学校
山口	山本 美奈子	周南市立岐陽中学校
岡山	川崎 彩	倉敷市立下津井中学校
岡山	川上尚美	組合立総社西中学校
広島	前 奈宜紗	甲田町立甲田中学校
鳥取	米山美里	境市立境二中学校
愛媛	河野ゆき	松山市立雄新中学校
香川	弾正原 依子	高松市立香東中学校
香川	藤本 恵	高松市立香東中学校
福岡	金子 ひとみ	福岡市立原北中学校
佐賀	江口千夏	神崎町立神崎中学校
大分	松本 紗也香	大分市立明野中学校
大分	増田寛那	大分市立明野中学校
宮崎	炭床 ともみ	小林市立三松中学校
鹿児島	川俣 ゆかり	始良町立重富中学校
沖縄	平良彩乃	浦添市立神森中学校
沖縄	高良温子	浦添市立神森中学校
沖縄	翁長 和佳子	浦添市立神森中学校
沖縄	仲原愛美	浦添市立浦西中学校

平成15年度　日本ハンドボール協会表彰の皆様

都道府県	氏名	所属	役職
北海道	駒林昭三		理事長
岩手県	畠山 正	水沢市総合体育館	副会長
同上	北村尚英		副会長
同上	高田敏晴		参与
茨城県	吉地正丈	新聞自販	副会長
東京都	高野 亮	東京女子体育大学	強化委員
神奈川県	川邊孝夫		副会長
山梨県	栗原 富貴子		参与
石川県	古橋幹夫	小松市立高等学校	常任理事
静岡県	久保田 龍治		理事長
愛知県	飼沼守男	丸万家具	副理事長
滋賀県	丹田克己	多賀町教育委員会	理事
兵庫県	大原康昇	国立明石工業高等専門学校	理事長
奈良県	中井公人	雇用・能力開発機構	監査
福岡県	伊藤重松	筑紫女学園高校(非常勤)	元理事
佐賀県	高木健恵		副会長
同上	白武康麿		副会長
長崎県	今村豊嗣		参与
大分県	湯浅秀紀	大分県立大分鶴崎高校	常任理事
宮崎県	関谷和徳		参与
教職員	中野利一	埼玉県立浦和商業高校	事務局長

平成16年度 第7回ハンドボール研究集会

「ボール運動教材としてのハンドボール－その7－」を終えて



村山明夫（神奈川県立六ツ川高等学校）

8月3・4日に熊本県山鹿市、山鹿市総合体育館で第7回ハンドボール研究集会が行われました。愛知、神奈川、秋田において開催されてきたこの研究集会も第7回を数えました。今年は数多くの大会やイベントが行われる、熊本県において開催されました。「ハンドボールの魅力や諸特性に対して認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったハンドボールの授業づくりについて研修する」という趣旨のもと、多様な顔ぶれの参加者が集まり、質の高い研究発表と講義・講演が行われました。

以下にその内容を記します。

■8月3日（火）

○講　演

講演者　国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官／文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官　今関　豊一氏

体育学習における指導と評価の方法について講演がなされました。ハンドボール（ボール運動）領域での戦術学習の教材価値について、スリーゾーンコートのゲーム等を例に挙げながら話がなされました。

○研究・実践報告

1「デンマークにおける子供のハンドボール指導」
村松　誠（駒澤大学）

海外におけるハンドボール指導の様子や各地区での小学校体育における授業実践の報告が行われました。デンマークの地域クラブの中で行われるハンドボールの様子や、質の高い授業の様子が紹介されました。

2「小学校体育科カリキュラムにおけるハンドボールの教材価値　―高学年のゲーム分析で得られた子供の動きを視点として―」　田村正之（東京学芸大学附属世田谷小学校）

3「仲間と関わり合いながら、みんなが夢中になれる教育づくりをめざして　―第5学年における「ハンドボール」の指導を通して―」　野口美千代（茨城県岩井市立岩井第二小学校）

4「小学校におけるボールゲームの指導過程　―1年生から5年生までのハンドボールを中心とした子供の思考や動きを通して―」　木谷光男（秋田大学教育文化学部附属小学校）

5「0からのスタート！　―ハンドボール教材づくりに関する実証的研究―」　山崎功一（高知県高知市立横浜新町小学校）

6「得点者交代制（ローテーション）ルールによる戦術学習の効果　―小学校4年生―」
谷本和信（富山県富山市立堀川小学校）

○実技研修

講　師　名古屋市教育委員会青少年室　角　紘昭氏

ジュニア世代のハンドボール指導の内容をどのように行うべきかという視点のもとに、動きづくりのトレーニングや簡易ゲームの紹介等の実技指導が行われ、実際の講習参加者が体を動かしました。

■8月4日（水）

○授業提案

山鹿小学校高学年（6年）　授業者　森田康文
「みんなでつくろう　みんなで決めよう　ハンドボール！」
山鹿小学校中学年（4年）　授業者　下山忠寛
「みんなで楽しもう!!　パス and シュート!!」

山鹿小学校の体育の授業が行われました。現行の学習指導要領のなかで、戦術学習を狙いとして行われるハンドボールの授業が展開され、小学校の先生の指導のもと、子供達が様々な教材や資料を用いて、活き活きとハンドボールを学習する様子が観察できました。

○講義：「ボール運動教材としてのハンドボール」

講　師　秋田大学教育文化学部教授　林　恒明

さきの時間に行われた授業提案に対するコメントが出されました。先生の児童に対する関わり方、教材や教具について、子供たち同士の認め合いを如何に促すか、等についての評価がされました。非常にすばらしいものでした。また、ハンドボール（ボール運動）の教材としての可能性が述べられ、教材、教具の開発がしやすく一般化しやすいこと、ボール操作や得点がしやすいために、敵陣突破型の戦術学習に適していること、などの説明がなされました。



実技では参加者も参加して汗を流す。



メモを取りながら真剣に聞き入る参加者達。

第16回女子世界選手権　ーチーム、個人の傾向ー
攻めは魅力的だが、守りに欠点





監修　笹倉 清則（指導委員長：日本女子体育大学）写真左
翻訳　坂東 佑美（学芸大学附属高校ハンドボール部）写真中央
　　　吉田 佳世（学芸大学附属高校ハンドボール部）写真右

国際ハンドボール連盟（IHF）の機関誌であるワールド・ハンドボール・マガジン（WHM：年4回発行）には不定期で世界大会の分析が掲載されます。2003年4号には昨年12月に開催された女子世界選手権に対するCCMメンバー Frantisek Tabosky 氏とIHFレクチャーの Ekke Hoffman 氏の分析が掲載されました。今号では、監修を指導委員長笹倉清則氏、学芸大学附属高校ハンドボール部の坂東佑美さん、吉田佳世さんの翻訳により掲載いたします。

総評

今回のハンドボール世界選手権を総評すると、どのようになるだろう。

プレーの展開は非常に速く、メインラウンドや決勝戦は極めて接戦であった。ハンドボール界は、もはや少数の特にレベルの高いチームが君臨しているのではなく、メインラウンドに出場する全てのチームが同程度に強い状態になってきたと言える。上位8位以上のチームによって行われた17試合のうち、4試合が通常時間内に引き分けて終わり、6試合が1ゴール差、3試合が2ゴール差、2試合が3ゴール差で終了している。唯一の例外はハンガリー対スロベニア戦（35－23）である。ハンガリー対ウクライナ戦は、ここでは考慮に入れることはできない。というのもウクライナはすでに準決勝出場資格を得ており、この試合では明らかに力をセーブしていたからである。しかしながら、少なくとも最初の12試合は接戦であったといえる。例えば、ドイツはハンガリーに勝利した（30－27）グループD唯一のチームであるが、後に対スロベニア（28－29）、ノルウェー（30－31）、ウクライナ（23－25）の3試合で1ないし2ゴール差で負けている。**表1**は過去5大会の上位8チームの対戦スコアを表している。2001年世界選手権に見られたような1試合につきの平均ゴール数が55を超えるということもなされた。また、スコアが40－38で終了した準決勝のハンガリー対韓国戦や、4日目に行われたグループAの、40－41で終了したSCG対ブラジル戦（終了たった5分前のブラジル側のスコアは38－39であった）などの『異常な』試合も見られた。4位決定戦は1試合につき平均およそ65回の攻撃が行われた。12のメインラウンド参加チームは、それぞれが10日間のうちに8試合、準決勝出場の4チームは13日のうちに10試合をこなさなければならなかったのにも関わらず、である。おまけに、7mスローや中断時のタイムアウトのようなルールが導入されたことによって試合時間が大きく延びている。選手が感じる身体的、精神的な緊張（選手それぞれの野心、オリンピック、大望やメディアのプレッシャーなど）は相当なものであった。それに加え、女子ハンドボールが著しく発展した国では、選手を疲れきらせるようなクラブチームの競技日程があった。

表2は近年の世界選手権においての主な強豪国の劇的変動を示している。過去5年の女子選手権では、17カ国（うち16カ国がヨーロッパ）が少なくても1度、8強入りを果たしている。ノルウェーだけが毎回8強入りをしており、デンマーク、ロシア、ハンガリーが4回、韓国、ドイツ、オーストリア、フランスが3回入賞している。そして2003年は3カ国の『新参者』、ウクライナ、スペイン、スロベニアが現れ、そのうち2国はオリンピック出場権をも得ている。

新世界王者についてコメント

フランスのコーチ Krumbholz は、見たところ全ての試合で、全ての選手を使い、力をセーブしていたようだ。この戦法は、一貫して使われたわけではないが、ほぼ全ての有力チームで使用された。しかし、例外として、左ウイングの Kirsner（ハンガリー）は、610分（10試合＋延長時間）の試合時間のうち総計およそ604分間もプレーしていた。実際、フランスのチームは対オーストラリア戦で主力選手を控えさせることができたのに、ハンガリーはメインラウンドに

表1　過去5大会上位8チームの得点平均

大会年	試合数	平均スコア	平均得点数	得失点差
1995	17	24.4：21.9	46.5	2.5
1997	17	26.6：22.2	48.8	4.4
1999	18	26.9：21.4	48.3	5.5
2001	17	29.2：26.1	55.3	3.1
2003	17	29.0：26.5	55.5	2.5

表2　過去5大会のベスト8

大会年	優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位	8位
1995	韓国	ハンガリー	デンマーク	ノルウェー	ドイツ	ロシア	ルーマニア	オーストリア
1997	デンマーク	ノルウェー	ドイツ	ロシア	韓国	クロアチア	マケドニア	ポーランド
1999	ノルウェー	フランス	オーストリア	ルーマニア	ハンガリー	デンマーク	ドイツ	マケドニア
2001	ロシア	ノルウェー	ユーゴ	デンマーク	フランス	ハンガリー	オーストリア	スウェーデン
2003	フランス	ハンガリー	韓国	ウクライナ	スペイン	ノルウェー	ロシア	スロベニア

表3　上位8チームの選手データと日本チームの比較

	選手数	平均年齢	身長						平均体重	国際試合平均参加数
			～169	～179	180以上	最低	最高	平均		
日本	15	24.9	9	6	0	160	175	167.4	62.5	?
フランス	16	27.9	2	10	4	164	189	174.6	66.9	118.7
ハンガリー	16	26.8	0	9	7	171	186	178.1	68.1	62.2
韓国	16	25.9	5	9	2	163	180	171.3	63.4	30.9
ウクライナ	16	26.1	4	6	6	162	192	175.5	66.0	37.9
スペイン	16	26.8	6	7	3	166	182	171.7	69.0	62.5
ノルウェー	16	24.8	3	6	7	163	185	177.5	69.3	73.1
ロシア	16	24.6	2	4	10	167	189	180.3	71.1	52.9
スロベニア	16	27.8	1	11	4	168	184	175.3	70.5	49.4

進出するために予選の時点から（対コートジボアール戦でさえ）全力でやらねばならなかった。大会の前半でなされたこのような努力は、延長も加わり、世界選手権の終わりに当然反動が出た。逆にフランスの選手は、彼女達の身体的な強さに加え、異常な戦闘精神と結びついた強力な精神力を発揮した。彼女たちは全ての厳しい試合の決着を、最後の本当にわずかな時間でつけた。

フランス
対　スペイン
53分：23－24
終了時：28－25
対　セルビアモンテネグロ
59分：25－25
終了時：27－25
対　ロシア
55分：18－18
終了時：20－19
対　ウクライナ
53分：22-24
終了時：25－25
延長時：28－26
対　ハンガリー
53分：18-25
終了時：28-28
延長1分20秒前：29－28
延長終了時：32－29

チームが良い成績を出すためには、選手の平均年齢、参加した試合での経験（この場合、国際試合）や身長はどれも同じように重要な影響力を持っている。**表3**を見てみよう。ヨーロッパ以外のチームがナショナルチームとして長期的な構想をたて、それを保ち続けることが難しいのは明らかである。唯一それができているのは、非常な経済力、人々の可能性、そして明確な目的（2008年オリンピック）を兼ねそろえた中国という国である。フランス（とオーストリア）はこの世界選手権において最も年齢層が高く、経験豊かなチームであったといえる。

ディフェンス

選手たちの身長の高さは確かにいくつかのチームを有利にしたが、小さめの選手たちも技術や戦法でその弱点を補った。これはロシア対ウクライナ戦（28－27）、対スペイン（25－25）、そして対フランス戦（19－20）の結果によって証明された。チーム内での個々人を比べると、最も身長の高い人と低い人の差は11cm（中国）から35cm（ブラジル）までに及ぶ。

強豪国の多数はシステムを6－0ディフェンスとしてプレーすることが多いのに対して、小さな選手の多いチームは主に積極的で、攻撃的なディフェンスを好んで採用した。例えばスペインの3－2－1や韓国の1＋0－5隊形（ポストに対してはマンツーマンで、他の5人の選手も時にはとても高い位置で守る）などである。例外や変化はある。例えば、中国はその平均身長にも関わらず主に3－3や3－2－1隊形ディフェンスをするし、スロベニアもまた時に積極的な3－2－1隊形でプレーし、そのすばらしいフットワークは引きつけられるものがあった。いくつかのトップチームが時々そのゲームの方針により、人数的優勢に関わらず基本的隊形を変えていること（例えば6－0から5－1、1＋5－1へ）もまた興味深い。これはディフェンスの大きな流動性を表している。

シュート率

多得点者になるためには（PT除く）年齢や身長、国際舞台での経験が重要な役割を果たす。上位11人中4人はハンガリー、3人は韓国の選手である。優勝チーム、フランスの選手は19位に位置するだけに終わった。アタックプレーヤーたちが最高のシュート結果を残した。Mambo（セルビアモンテネグロ）、Fraile、Celeya（スペイン）、Tsygitsa（ウクライナ）、Fridrica（オーストリア）そしてRadu1ovics（ハンガリー）といっ

た選手である。そんな中 Ferling（ハンガリー）だけが 60％を超えるという信じれられない成功率を記録した。

最も成功率の高いポストは、ほぼ 90％のシュートを決めた Kulcsar（ハンガリー）である。ウイング最多得点選手でも成功率は 70％程度であるのに、である。上位８人のうち４人は左利きであるという点も挙げられるだろう。

以下の選手は７mT において特出した成績を残している。Mnravyeva（ロシア：95％）、Lyapina（ウクライナ：94.7％）、そして林五卿（韓国：88％）である。しかしながら、全体として見ても、その他の選手も同様に注目すべきパフォーマンスをしている。

GK のパフォーマンス

一般的なゴールキーパーのパフォーマンスは、通例の国際的な平均や基準を下回っていた。これはフィールドプレーヤーのシュートが素晴らしかった要因である。フランス（42％）、ハンガリー（41％）、ノルウェー（43％）のゴールキーパーだけがキープ率 40％以上を達成している。それをふまえて、この３チームの最終スコアと上位３チームのそれを注意深く比べてみると、これらのチームのゴールキーパーがチームの成績にどれだけ貢献しているかがわかるだろう。これらの３カ国が、その他のレベルの高いチームに対して接戦をしたことを見ても、ゴールキーパーがその国のランクをどれだけ上げたかがうかがえる。韓国などの２番目に強いチームのゴールキーパーたちと比べても、その差は歴然としている。24 カ国の中で、韓国のキーパーたちはキープ率だけで言うと 17 位でしかない。また、アルジェリアのキーパーのキープ率 21％とウルグアイの 16％は、味方チームのディフェンスの弱さや逆速攻の数を考慮に入れなければならない。また、トップ８カ国のキーパーが良くないというつもりはないが、ウィングからのシュートのキープ率が高いことが、つまりはウィングプレーヤーたちのプレーの低さを示しているとも考えられる。

上位８チームの累計スコアの統計をみると、ハンガリー（60％）と韓国（61％）、ロシア（61％）だけのシュート成功率が 60％を超えているが、驚くことに世界王者フランスは８チームの中で成功率が１番低く、ここでもまたそのディフェンス力とゴールキーパーのキープ率の高さが明らかになっている。

攻撃率について

攻撃率の統計では、１試合においての攻撃数の多いことがわかる。これは、特にセットプレーでの短い時間の中で得点を入れるために、単純な攻撃が単発や小人数で行われたからである。このようなリスクの高いプレーはすなわちボールが相手に渡ってしまいやすいということを意味している。強豪国の場合、４回に１回の攻撃が技術的ミスで終わっている。また、低位チーム（アルジェリア、オーストラリア、ウルグアイ）では 40％以上の攻撃が相手ボールになって終わっている。

上位８チームが挙げた 2211 の総ゴールのうち 81％はセットプレーで、19％は速攻で決められた。また 73％が同人数の状態で、19％が自分のチームの人数が多いとき、8％が少ないときに得点されている。

以下は我々がまとめた世界選手権での上位チームに共通していた要因である。

プレーの柔軟性、可変性

これらは個人技術としてだけでなくチームの戦法についても言える。にも関わらず、きっかけの動きの後に効果的にプレーが連続する、というような計画のたてられたプレーの数は少なくなっている。例外としてウイングのポジションの移り変わりの形はあったが、これはディフェンスのプレッシャーがなかった場合に行われていた。

多才性と専門性

ほとんどのトップ選手は多面的な才能があるにも関わらず、何人かの選手は特定の性質にこだわるといった傾向があった。これは攻撃時と守備時においての頻繁なメンバー交代につながった。相手がこの弱点をダイレクトな速攻やクイック攻撃で十分に利用しきれていなかったことは明らかである。

この世界選手権ではポストプレーヤーの明白な『タイプ』も変化していた。小さくて素早くて機敏な選手は、プレーではなく身体的性質や能力に依存する大きくてパワフルな『静的プレーヤー』に徐々にとって代わられるようになってきた。このようなことは特にスクリーニングや１対１にも言えることであり、これは得点のチャンスにつながるというよりも２分間退場を伴った７ｍスロー、または（罰

せられない）オフェンスファアールになりやすい。

動きと予想

明らかな傾向として、主にディフェンスでは、ただ相手の動きに反応するだけでなく先の動きまで予想して相手の攻撃に影響を与えるという動作が多くなった。特に２枚目のディフェンスは動きを予想することによってプレッシャーを与え、左右のウイングを完全にゲームに関わらせないようにする。このことよって、攻撃の範囲を狭めたり、フォーメーションの使用を制限、または防いだ。ボールから離れるバックコートプレーヤーに対する予測の動きはほとんど見られなかった。

１対１の局面

１対１の局面から逃げることは、個人的な突破と２～３人のグループで素早く行われ確実に得点がとれるプレーの両方において大きな意義を持つ。1対1は、アタックプレーヤーによって、特にホールディングやプッシングなどを行う貧弱なディフェンスに対して相手の反則をねらってよくプレーされたが、これらの反則は十分に適用されていなかった。

攻守の切り替え

多くのチームは絶えず相手にプレッシャーを与えようとする。特にこれは攻守切り替えのときによく見られる。よって二次速攻（２番目の波）や３番目の波をクロスプレーで行うことがだんだん重要になってくる。攻守切り替えのときの攻め方は正確に決められていて、各プレーヤーがそれぞれ役割を負っていた。クイックスタートも守る方のチームが対応できるようになってきた印象があるにも関わらず、２年前よりよく見られるようになっていた。

攻撃でスペースを使う、攻撃のシフト

個人で、または少ない人数において重視された多くの攻めの戦法では、主に強豪国が何度もやったような、トッププレーヤーが攻撃をするスペースを作り出すことが重要である。２人で攻める場合、１対１の局面で１人のプレーヤーが平行に攻めて対面のディフェンスを引きつけ、ここでシフトしたり、あるいは、LHから右ウイングへ、または左ウイングから右ウイングへ、時には左右ウイングからポストへといった、ゴールエリアを通したパスによる素早い動きの展開が見られる。

これらのロングパスや素早い展開は、ポジションにこだわって計画された、相手の動きを予測してプレーしていたウイングのディフェンスに対する、１つの解決策となる。

攻撃パターンの多様性

素早いフィニッシュでの短い攻撃はゲームの攻めや守りのシステムがあまり効果的でなかったことを意味する。それらは特にメインラウンドから決勝までのチームにおいて明らかであった。プレーのシステムはウイングとセンターの入れ替わりによって最も多く変わっていったが、その変化したシステムでプレーしたのは短い間でしかなかった。上位チームにおいて、その変化した形でプレーを続行できていたチームはあったが、これは誰か１人とても上手い選手がいたおかげか、選手交代をしたことによるだろう。

まとめとして

この世界選手権の多くの試合で見られたハイペースさは称賛に値するものであった。それは、多いゲーム数の間に２～３日の休みしかなかったこととも考えると、大変な身体的消耗を伴ったであろう。過去数年の世界選手権と比べ、強豪国の試合は異常に桔抗していた。これは非常に僅差の結果からもよくわかる。同時に、オフェンスまたはディフェンスだけに出場する非常に個人能力の高い選手が目立った。個人的に、または小人数で特に好まれた速い展開や積極的な動きは、多くの技術的ミスにつながった。ゴールキーパーのパフォーマンスは他のポジションの選手やチーム全体のレベルに追いつかなかったことが残念であった。ただ３人のゴールキーパーだけは国際的にも標準であった。

今回の世界選手権は、女子ハンドボールがゴールキーパーや個人のパフォーマンスに関しては下り坂であったが、オフェンスについては魅力的に発展し続けていることを示している。

スコアールーム ①

第59回国民体育大会秋季大会

開催期日　平成16年10月23日(土)～10月28日(木)
会　　場　八潮市鶴ヶ曽根体育館、八潮市立大原中学校体育館、三郷市総合体育館、吉川市総合体育館、県立吉川高等学校体育館

【競技別総合成績】
◆男女総合成績（天皇杯）
1位：熊本県
2位：石川県
3位：愛知県
4位：三重県
5位：広島県
6位：香川県
7位：埼玉県、長崎県
◆女子総合成績（皇后杯）
1位：石川県、熊本県
3位：三重県
4位：愛知県、広島県
6位：山梨県
7位：宮城県、千葉県、東京都、兵庫県、岡山県、香川県、鹿児島県

【成年男子】
◆順位
優勝：埼玉県
2位：愛知県
3位：広島県
4位：三重県
5位：東京都・熊本県・香川県・長崎県
◆1回戦
三重県　28（15－9、13－10）19　岩手県
東京都　30（14－10、16－14）24　北海道
熊本県　30（14－13、16－11）24　茨城県
愛知県　26（6－9、20－7）16　大阪府
埼玉県　33（15－5、18－8）13　京都府
香川県　28（14－15、14－12）27　福井県
長崎県　22（13－10、9－10）20　青森県
広島県　29（17－10、12－11）21　神奈川
◆準々決勝
三重県　31（15－12、16－6）18　東京都
愛知県　32（14－11、18－10）21　熊本県
埼玉県　34（17－8、17－7）15　香川県
広島県　28（10－8、18－12）20　長崎県
◆準決勝
愛知県　30（16－11、14－14）25　三重県
埼玉県　27（15－9、12－16）25　広島県
◆3位決定戦
広島県　24（11－12、13－10）22　三重県
◆決勝
埼玉県　33（18－8、15－12）20　愛知県
埼玉県は、「成年男子（第51回大会より）」としては初優勝。通算（一般男子、成年男子、成年男子1部、成年男子）では、15年ぶり11回目の優勝

【成年女子】
◆順位
優勝：熊本県
2位：石川県
3位：広島県
4位：山梨県
5位：三重県・鹿児島県・岡山県・香川県
◆1回戦
東京都　27（14－11、13－15）26　兵庫県
富山県　22（10－6、12－11）17　宮崎県
大阪府　27（13－11、14－14）25　埼玉県
愛知県　33（15－11、18－12）23　秋田県
大分県　22（11－7、11－4）11　神奈川
◆2回戦
広島県　39（18－9、21－4）13　東京都
三重県　29（16－7、13－10）17　富山県
石川県　40（21－8、19－7）15　大阪府
鹿児島　28（18－11、10－6）17　愛知県
山梨県　30（18－8、12－11）19　大分県
岡山県　21（12－6、9－10）16　福井県
香川県　30（15－15、15－8）23　宮城県
熊本県　24（8－4、16－7）11　茨城県
◆準々決勝
広島県　34（15－7、19－13）20　三重県
石川県　18（12－4、6－13）17　鹿児島
山梨県　24（14－8、6－12）23　岡山県
（2－0延長2－3）
熊本県　25（11－6、14－7）13　香川県
◆準決勝
石川県　16（6－8、10－7）15　広島県
熊本県　21（10－11、11－6）17　山梨県
◆3位決定戦
広島県　29（14－7、15－6）13　山梨県
◆決勝
熊本県　27（11－14、12－9）26　石川県
（2－3延長2－0）
熊本県は、「成年女子（第30回より）」としては3年ぶり10度目の優勝。通算（一般女子、成年女子）では、3年ぶり17回目の優勝

【少年男子】
◆順位
優勝：長崎県
2位：茨城県
3位：香川県
4位：富山県
5位：兵庫県・埼玉県・神奈川県・福井県
◆1回戦
大分県　28（17－12、11－8）20　千葉県
神奈川　24（14－9、10－11）20　宮崎県
山梨県　29（12－9、17－7）16　北海道
兵庫県　25（12－13、13－11）24　三重県
埼玉県　44（23－8、21－7）15　岐阜県
岡山県　22（11－10、11－9）19　京都府
福井県　37（21－8、16－14）22　群馬県
大阪府　31（13－8、18－9）17　福島県
◆2回戦
茨城県　30（12－14、18－13）27　大分県
神奈川　33（18－12、15－17）29　山口県
兵庫県　35（15－13、14－16）30　岩手県
（4－0延長2－1）
埼玉県　27（8－12、19－14）26　沖縄県
香川県　43（22－7、21－13）20　山梨県
福井県　34（18－11、16－17）28　愛知県
富山県　29（14－6、15－10）16　岡山県
長崎県　31（17－13、14－13）26　大阪府
◆準々決勝
茨城県　34（17－16、17－13）29　兵庫県
富山県　28（11－16、17－11）27　埼玉県
香川県　36（17－11、19－13）24　神奈川
長崎県　39（18－11、21－14）25　福井県
◆準決勝
茨城県　31（15－15、16－15）30　富山県

長崎県　26（10－14、16－9）23　香川県
◆3位決定戦
香川県　31（18－12、13－16）28　富山県
◆決勝
長崎県　31（17－16、14－14）30　茨城県
長崎県は、3年ぶり2回目の優勝。

【少年女子】
◆順位
優勝：石川県
2位：熊本県
3位：愛知県
4位：三重県
5位：兵庫県・千葉県・宮城県・東京都

◆1回戦
石川県　27（10－11、17－7）18　埼玉県
宮城県　27（13－16、14－9）25　神奈川
兵庫県　25（12－13、13－6）19　香川県
東京都　30（16－8、14－17）25　山口県
三重県　24（10－9、10－11）22　沖縄県
（1－1延長3－1）
千葉県　26（13－9、13－11）20　秋田県
熊本県　40（21－0、19－5）5　北海道
愛知県　21（13－8、8－8）16　大阪府
◆2回戦
石川県　33（16－11、17－5）16　兵庫県
三重県　22（9－13、13－6）19　千葉県
熊本県　36（18－11、18－9）20　宮城県
愛知県　30（7－12、15－10）22　東京都
（4－2延長4－2）
◆準決勝
石川県　27（12－9、15－11）20　三重県
熊本県　24（9－9、15－10）19　愛知県
◆3位決定戦
愛知県　24（11－10、13－8）18　三重県
◆決勝戦
石川県　28（15－10、13－13）23　熊本県
石川県は、「少年女子」としては、18年ぶり7度目の優勝。通算（高校女子、少年女子）では18年ぶり8度目の優勝

スコアールーム②　高松宮記念杯第45回全日本実業団ハンドボール選手権大会

開催期日　平成16年9月8日(水)～9月12日(日)
会　　場　高知県民体育館、南国市立スポーツセンター

【男　子】
◆順位
優　勝　大崎電気（17年ぶり13回目の優勝）
準優勝　湧永製薬
第3位　大同特殊鋼
第4位　アラコ九州
第5位　トヨタ車体
第6位　ホンダ熊本
第7位　ホンダ
第8位　北陸電力
第9位　八光自動車工業
第10位　大阪ガス
第11位　豊田合成

◆予選トーナメント1回戦
大同特殊鋼　39（18－4、21－5）9　豊田合成
ホンダ熊本　36（17－7、19－8）15　大阪ガス
トヨタ車体　41（22－3、19－3）6　八光自動車工業
アラコ九州　29（15－10、14－14）24　北陸電力
◆順位決定戦（8位～11位戦）1回戦
北陸電力　32（17－8、15－11）19　豊田合成
八光自動車工業　24（15－7、9－12）19　大阪ガス
◆予選トーナメント2回戦
大崎電気　35（17－14、18－8）22　ホンダ熊本
湧永製薬　22（9－9、13－8）17　トヨタ車体
アラコ九州　30（14－7、16－16）23　ホンダ
◆10位決定戦
大阪ガス　26（9－11、17－12）23　豊田合成
◆8位決定戦
北陸電力　28（17－9、11－10）19　八光自動車工業
◆5位～7位決定リーグ戦
トヨタ車体　23（10－9、13－13）22　ホンダ
トヨタ車体　24（15－8、9－12）20　ホンダ熊本
ホンダ熊本　23（14－13、9－8）21　ホンダ
◆決勝リーグ
大崎電気　28（12－15、16－10）25　大同特殊鋼
湧永製薬　25（11－8、14－11）19　アラコ九州
大崎電気　19（8－10、11－9）19　アラコ九州
湧永製薬　22（6－13、16－8）21　大同特殊鋼
大同特殊鋼　24（9－10、15－13）23　アラコ九州
大崎電気　33（16－11、17－8）19　湧永製薬

【女　子】
◆順位
優　勝　広島メイプルレッズ（4年連続6回目の優勝）
第2位　オムロン
第3位　北國銀行
第4位　ソニーセミコンダクタ九州
第5位　MIE violet's IRIS
第6位　香川銀行TH

◆予選リーグ
Aグループ
広島メイプルレッズ　32（13－13、19－7）20　香川銀行TH
ソニーセミコンダクタ九州　31（17－10、14－13）23　香川銀行TH
広島メイプルレッズ　30（18－6、12－15）21　ソニーセミコンダクタ九州
Bグループ
オムロン　26（14－6、12－8）14　MIE violet's IRIS
北國銀行　27（12－11、15－4）15　MIE violet's IRIS
オムロン　29（16－13、13－10）23　北國銀行
◆5位決定戦
MIE violet's IRIS　27（11－10、16－13）23　香川銀行TH
◆準決勝
広島メイプルレッズ　36（16－9、20－17）26　北國銀行
オムロン　23（11－5、12－14）19　ソニーセミコンダクタ九州
◆3位決定戦
北國銀行　32（15－13、17－13）26　ソニーセミコンダクタ九州
◆決勝
広島メイプルレッズ　26（16－9、10－12）21　オムロン

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」10月入会・継続会員

【岩手】田口まり子　【茨城】野村正志　【千葉】岡本　聡　【東京】渡辺慶寿、宮本奈芳美　【愛知】柴田利実、秋田真理子　【三重】田村金子、加藤克彦　【大阪】山中善之祐、山田　稔、中塚冨佐子　【鳥取】足立逸郎　【長崎】藤山聖子　【熊本】大島隆志

蒲生晴明氏、強化本部長に就任

緒方嗣雄氏（日本協会常務理事）のソニーセミコンダクタ九州監督就任、強化本部長辞任に伴い、蒲生晴明氏（日本協会理事、中部大学助教授）の強化本部長就任が11月13日の理事会にて承認されました。

訂　正

先月11月号におきまして以下の記述に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

①マスターズ大会報告中、p.10：花巻市協会理事　長谷川富夫→花巻市協会理事長　谷川富夫、p.11：写真付記：花巻市協会理事　長谷川→花巻市協会理事長　谷川、高知県協会便り中、p.16：武田末男氏（日本協会理事）→（日本協会参事）

②沖縄県境会便り中、p.17：沖縄県ハンドボール協会会長保栄茂朝信さん→浦添市ハンドボール協会会長保栄茂朝信さん

次号は合併号です

次号は1／2月合併号として2月1日に発行されます。

【12月の行事予定】

【大会】………………………………………………………………

12月14日～18日
第56回全日本総合選手権大会（大阪府大阪市）

12月25日～28日
第13回JOCジュニアオリンピックカップ（大阪府堺市）

12月28日～1月4日
第17回世界大学男子選手権・第6回世界大学女子選手権（ロシア：チェリャビンスク）

【会議】………………………………………………………………

12月18日　常務理事会（大阪）

HAND BALL CONTENTS Dec.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

HANDBALL

MIKASA®
http://www.mikasasports.co.jp

高いグリップ力を実現！
ミカサの人工皮革ハンドボール



HP300

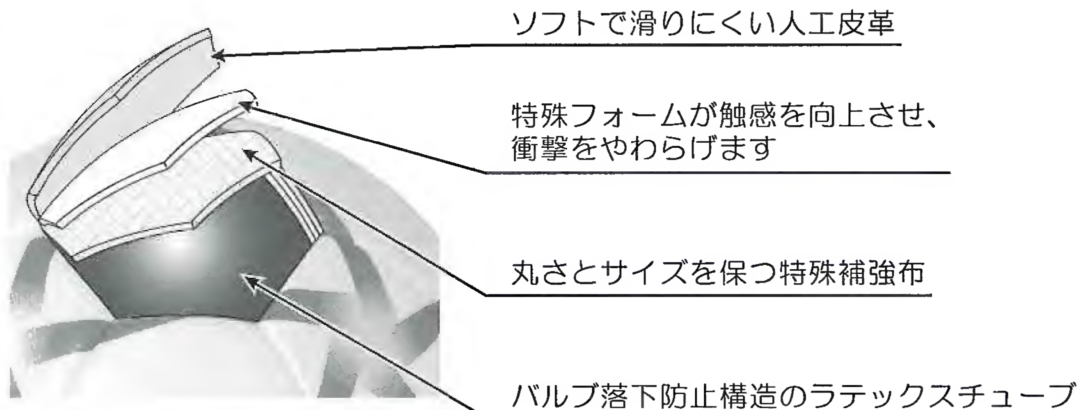
検定球3号、人工皮革
男子(一般･大学･高校)
カラー：イエロー



HP200

検定球２号、人工皮革
女子(一般･大学･高校)・中学校
カラー：イエロー

数々のテクノロジーがプレイをサポートします



株式会社 ミカサ

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四五六号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成十六年十一月二十六日印刷

平成十六年十二月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一

電話 代表 三四八一―二三六一

振替 〇二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人 大西武三

定価 年間二三〇〇円